

勇気の先に見える景色

2026年8月6日（木）
中原 誌公

目次

1. 自己紹介

2. 退職を決めた勇気が、私に見せてくれた“理想の姿” (2024年)

3. ニットのカラフル動物園 (2025年)

4. 勇気ある挑戦、その先に見える景色とは (2026年)

目次

1. 自己紹介

2. 退職を決めた勇気が、私に見せてくれた“理想の姿” (2024年)

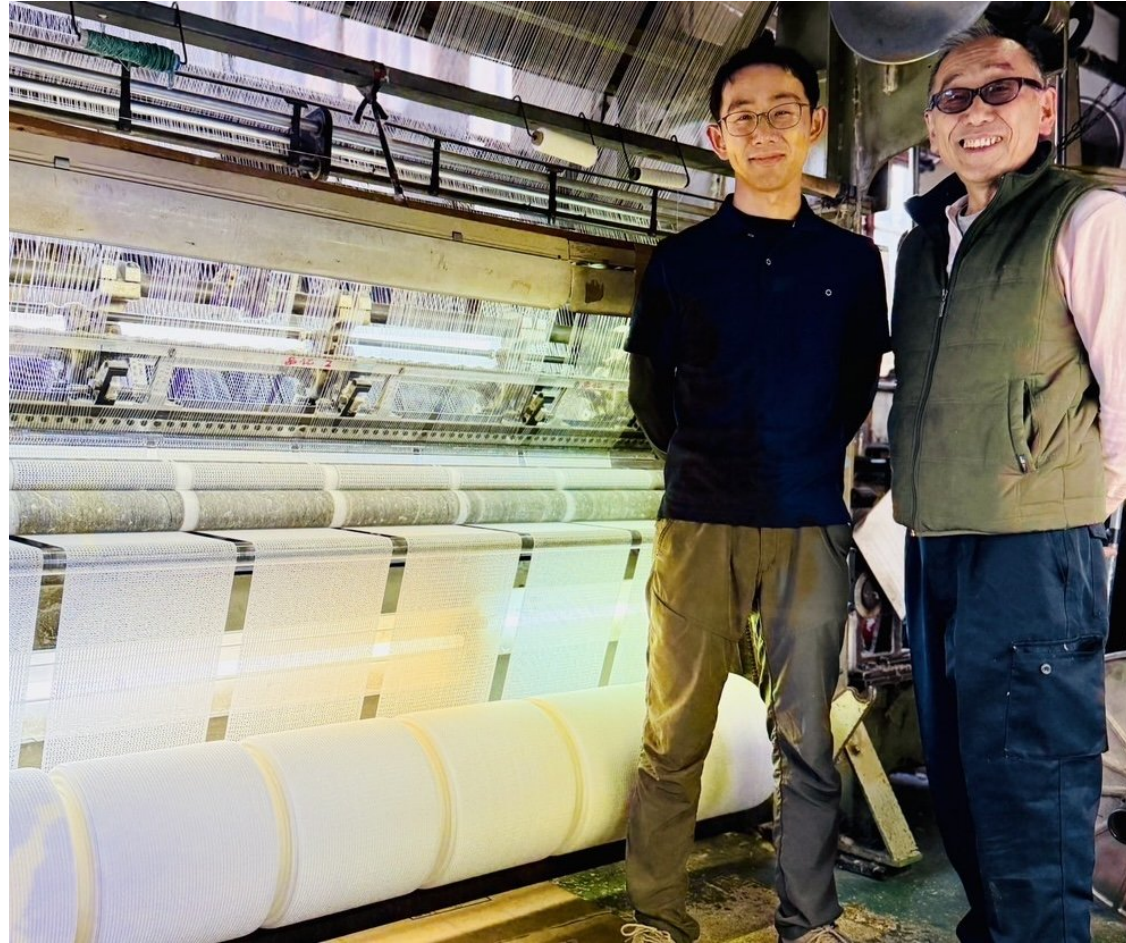
3. ニットのカラフル動物園 (2025年)

4. 勇気ある挑戦、その先に見える景色とは (2026年)

中原 誌公（なかはら しこう）

36歳 1児の父

中原ニット 3代目



尾州のラッセル（たて編み）工場



もっと笑顔を 😊 もっとニット

aKaHaRa-KNIT

尾州の魅力を伝える

尾州全体の市場を広げる



尾州のものづくりを
描いた絵本



小学校での出張授業
メディア出演、SNS発信

ラッセルの魅力伝える

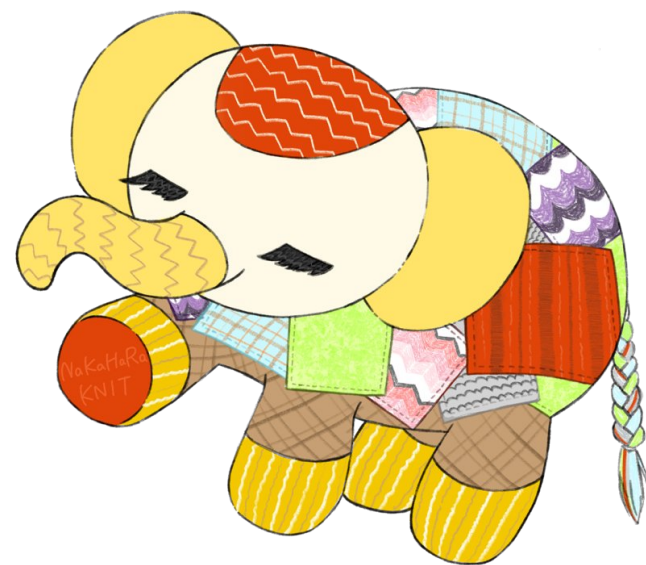
ラッセル全体の市場を広げる



子どもたちに協力してもらって制作した
ちびぞうのニコリ



仲間のスマイルと
イベント参加



中原ニットの
ラッセル生地を身に付けている

目次

1. 自己紹介

2. 退職を決めた勇気が、私に見せてくれた“理想の姿” (2024年)

3. ニットのカラフル動物園 (2025年)

4. 勇気ある挑戦、その先に見える景色とは (2026年)

私は辞めることが苦手

“断ると相手に悪い気がする”

「辞めたい」と伝えることが

私にとっては人一倍**勇氣**のいることだった



農業に出会ったあの日

書籍『リンゴが教えてくれたこと』（木村秋則 著）

大学2年生の頃に**植物栽培**に魅せられる



天職だと思えた時間

植物や土壌と向き合い、農家さんと一緒に課題を解決していく。
これはもう、私にとって間違いなく“**天職**”だった。



変化の兆しが訪れた日

- ・ 親会社の変更 → 労働組合の解散



組織に縛られない働き方もしてみたいな

- ・ 両親の別居は5年越し
 - ・ 妻の持病の悪化



家族と向き合う時間を取りたいな

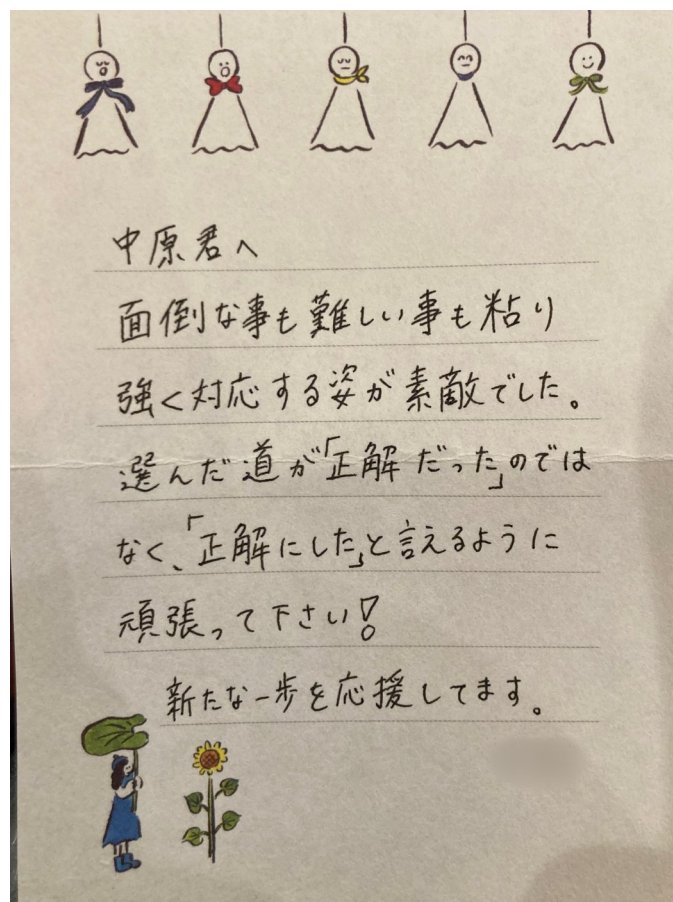
「辞めたい」と伝える怖さ

迷惑をかける**不安**が何度もよぎった



退職ニュースが社内外に伝わると…

恐れていた非難は、ひとつもなかった。
むしろ、想像以上の“感謝”と“応援”が返ってきた。

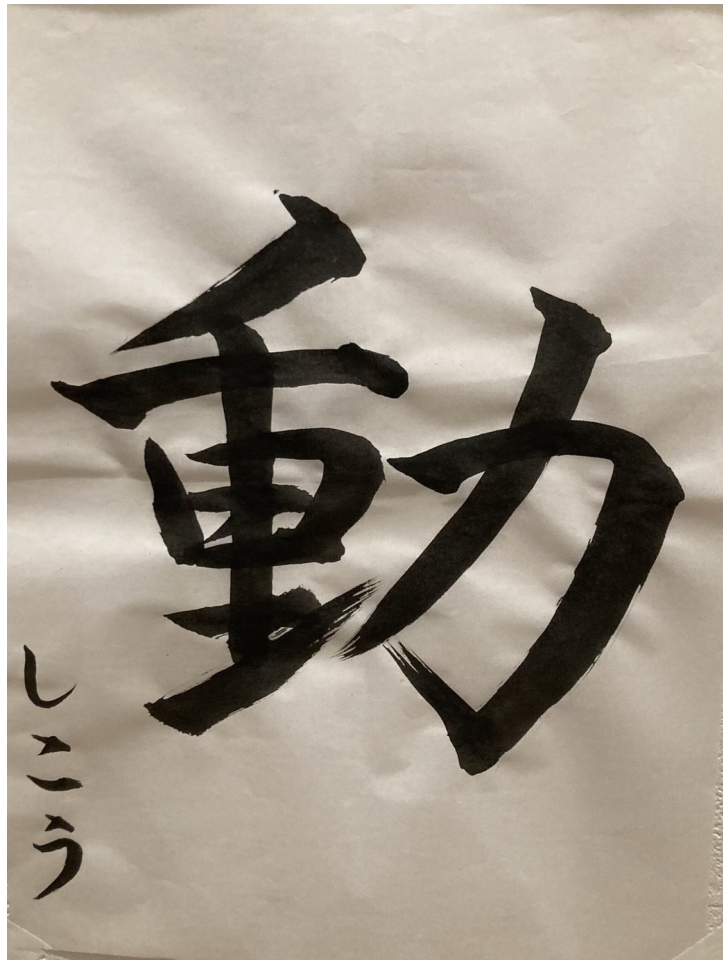


勇気の先で、得た学び

胸に入りきらないほどの**感謝**や**応援**の言葉を受け取って、
溢れ出た感情、そして得た学びは――



そして動き出す



2025年書き初め

地域では新濃尾大橋開通が迫る
日本経済はデフレからインフレへ

**きっと時代が動き出す。
そして、私も動き出すー。**

目次

1. 自己紹介

2. 退職を決めた勇気が、私に見せてくれた“理想の姿” (2024年)

3. ニットのカラフル動物園 (2025年)

4. 勇気ある挑戦、その先に見える景色とは (2026年)

突然訪れた、人生初の「展示会」への挑戦



あなた世代交代するなら
Re-TAiLで展示会
やってみなさいよ

決まらない企画、焦りの中で走った毎朝のルーティン

イベントをやるなら、**半年前にはやることが決まっているのが理想**だよ。
遅くとも3ヶ月前には決めておかないと、なかなか厳しいです。



8月の転機。ターゲットを絞った瞬間に溢れ出したアイデア

みて、さわって、たいけんできる。

ニットのカラフル動物園



① めりえ絵本『ひっじのオワリー』

尾州について知ってもらおう

ひっじのオワリー



作・なかはら ゆりこ
絵・さかざき みやこ

わたし ^み ^{びしゅう} ^{えほん} ^{えが}
私たちが見つけた尾州のものづくりを、絵本に描きました。

^{びしゅう} ^{きんち} ^{えほん} ^{えが}
尾州という産地には、この絵本では描ききれないほど

たくさん『ひと』が協力して布や衣服をつくっています。

そんな『ひと』の存在を感じながら、子どもたちがものを大切に

地域への「愛着」や「誇り」を育むきっかけとなることを願っています。



尾州から日本を、そして世界を笑顔に
中原ニット

② 中原ニットPR

中原ニットについて知ってもらう

沿革

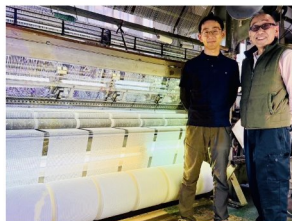
ひでます
1959年：秀増毛織 創業

尾州産地にて毛織物業を開始

たてあみ
1981年：経編機／ラッセルを導入し、編物業へ転身

のぶよし
二代目・信良が参画し、社名を「中原ニット」へ改称

しこう
2025年：三代目・誌公が加わり、新体制として歩みを進める



もっと笑顔をもっとニット
aKaHaRa-KNIT

もっと笑顔をもっとニット
aKaHaRa-KNIT

経営理念

Mission (使命)

ニット事業を通じて

尾州から日本を、そして世界を笑顔に

Value (価値)

1. 先人たちに敬意を
2. 現代を生きる人と協力を
3. 子どもたちの未来に希望を

Action (行動指針)

1. 勇気ある挑戦
2. 愛ある挑戦
3. 活発な挑戦

③ちびぞうプロジェクト

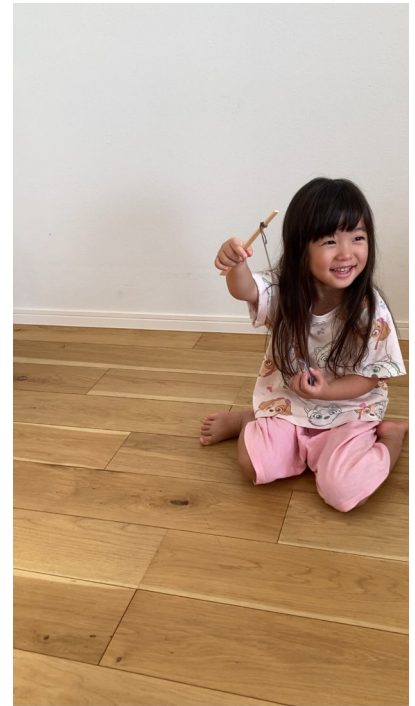
産地の仲間意識を高める



10/26 びさいまつりパレード@尾西市民会館
11/1 全国レクリエーション大会一宮大会@尾張一宮駅前広場
11/8 岐阜羽島駅前フェスティバル@新幹線岐阜羽島駅前

④ 動物ワークショップ°

楽しかった思い出の引き出しとする



満身創痍の登山で気づいた「頂上の景色」

登っている途中（準備段階）はどんな景色が見えるか分からないけれど
登りきったその先には、それまでには見られなかった景色が待っている。



最高のファンファーレと、尾州を見渡したあの景色



展示会の様子



尾州のぞう「スマイル」と遊ぶ子どもたち

最高のファンファーレと、尾州を見渡したあの景色



一宮太鼓保存会の演奏

最高のファンファーレと、尾州を見渡したあの景色



来場者・スタッフたちとの集合写真

最高のファンファーレと、尾州を見渡したあの景色



カラフル動物園実行委員

目標来場者数
300人

実来場者数
300人強

メディア出演

中日新聞（尾張版）

2025年(令和7年)10月15日(水曜日) 14

尾州ウール 絵本で魅力発信

1冊の洋服が生まるまでの流れを知りたいという、すぐれた絵本「ひとりのウール」

「一宮の繊維会社制作 読み聞かせなど企画」

尾州の繊維産業の魅力を伝えようと、一宮市西五城の繊維会社「中原ニット」が、絵本「ひとりのウール」を制作し、18、19の両日、同市栄のリテイアで開くイベントで配布する。3代目の中原さん(35)は「絵本をきっかけにして、幅広い世代に産地に関心を持ってほしい」と話す。(尾島恵美)

絵本はビジンの「オウリ」が、尾州で羊毛が「ウール」の洋服になる工程を巡る物語。繊維業の分業体制をイラストで分かりやすく伝える「オウリ」が完成した服をまとってベシは、子どもたちが憧れ絵を添えて完成させる。中原さんは「絵本が尾州の繊維会社をつなぐ架け橋になれば」と話す。

中原ニットは1999年に毛織物工場として創業し、ミッセルと呼ばれる経緯機を使い、斜めの模様や凹凸のある柄など多様な表現の生地を生産する。かつては衣類の産地が中心だったが、繊維不況で注文が激減。20年ほど前からボディタオルやふきんなど、日用品の生地も手ける。中原さん(35)は「代目として」

「一宮市西五城の繊維会社「中原ニット」に入社したのは今年5月、興業関連企業から転職を志していた時、縁遠かった尾州産地に興味を持ち、職人たちの熱意に触れた。父・信孝(65)が手がけた洋服は、世界に通用する高い技術が生かされていることを知った。『尾州』という地名を聞いた時、自分産地を応援したい」と言われ、会社を継ぎたいと言われ、面接した信孝さん(65)は「一宮市西五城の中原ニットで」

18日からのイベントは「ニットのカラフル動物園」と題し、絵本「ひとりのウール」の読み聞かせのほか、ニットの切り紙を使った「ウール」の制作体験や、小動物のイラストを制作するワークショップもある。午前10時～午後5時で入場無料。中原さん(35)080-3360-397

イベントへの会場を呼びかける中原さん(左)と父の信孝さん(右)一宮市西五城の中原ニットで

「一宮市西五城の繊維会社「中原ニット」が、絵本「ひとりのウール」を制作し、18、19の両日、同市栄のリテイアで開くイベントで配布する。3代目の中原さん(35)は「絵本をきっかけにして、幅広い世代に産地に関心を持ってほしい」と話す。(尾島恵美)」

「一宮市西五城の繊維会社「中原ニット」に入社したのは今年5月、興業関連企業から転職を志していた時、縁遠かった尾州産地に興味を持ち、職人たちの熱意に触れた。父・信孝(65)が手がけた洋服は、世界に通用する高い技術が生かされていることを知った。『尾州』という地名を聞いた時、自分産地を応援したい」と言われ、会社を継ぎたいと言われ、面接した信孝さん(65)は「一宮市西五城の中原ニットで」

18日からのイベントは「ニットのカラフル動物園」と題し、絵本「ひとりのウール」の読み聞かせのほか、ニットの切り紙を使った「ウール」の制作体験や、小動物のイラストを制作するワークショップもある。午前10時～午後5時で入場無料。中原さん(35)080-3360-397

ICC（一宮ケーブルテレビ）

ニットのカラフル動物園
中原ニット

10月23日(木)放送分

街ネタプラス

浅井南小学校 運動会

ニットのカラフル動物園

己書で繋がる愉快的仲間達

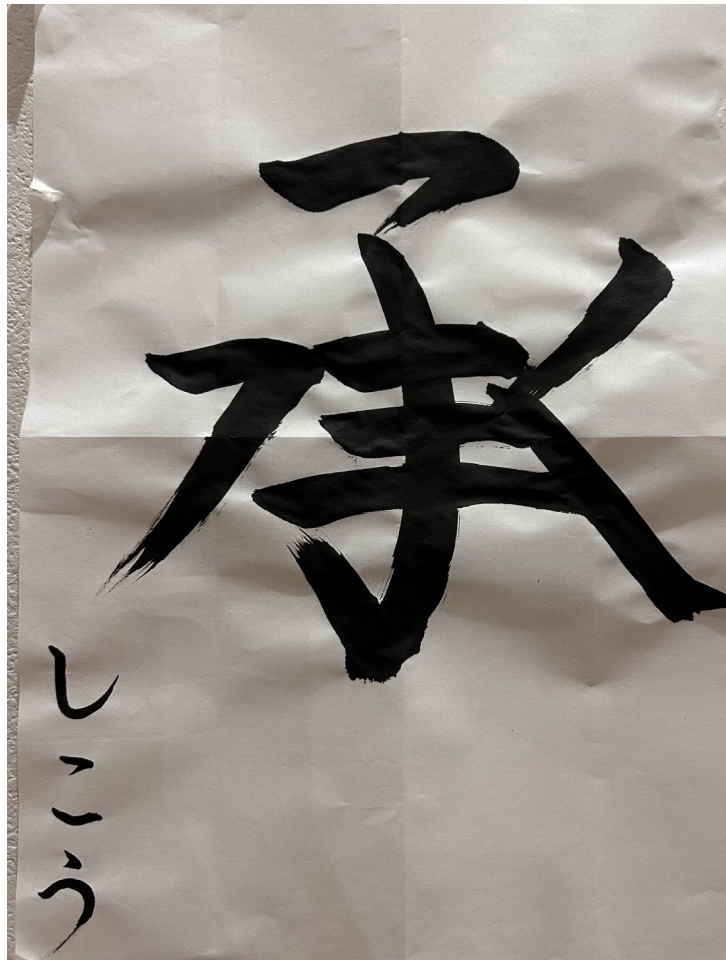
見る YouTube

勇気を出して必死に動いて、得た学び

登っている途中には見えない景色が、山頂にはある。



家業2年目



2026年書き初め

起**承**転結

技術継**承**

新たな仕事を**承**る

目次

1. 自己紹介

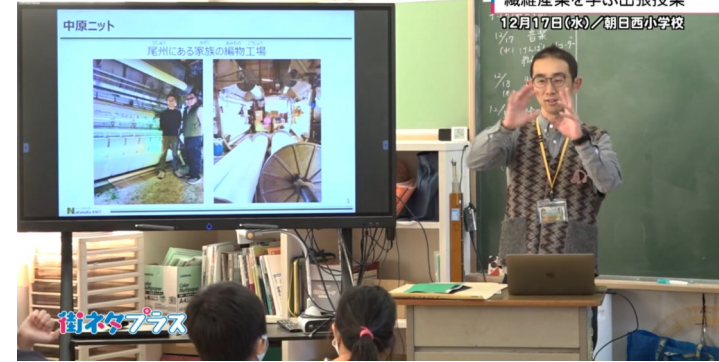
2. 退職を決めた勇気が、私に見せてくれた“理想の姿” (2024年)

3. ニットのカラフル動物園 (2025年)

4. 勇気ある挑戦、その先に見える景色とは (2026年)

2026年、あの日見上げた山頂のその先へ

2024年の決断、2025年の活動が2026年に続いている



＜尾州産地＞

ひつじサミット尾州
実行委員会



＜朝日連区＞

シン学校プロジェクト
推進委員会 委員長



＜中原ニット＞

尾州産地企業
との協業 増



中長期ビジョン（中原ニット2030）

ラッセル編みという選択肢を

尾州産地の未来へ継承し

人・技術・仕事が循環する産地をつくる

挑戦はつづく...

尾州

ラッセル

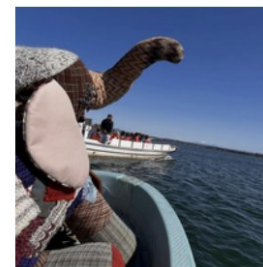
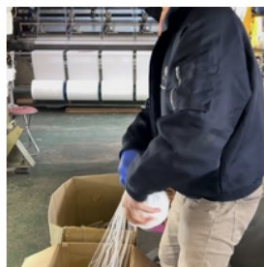
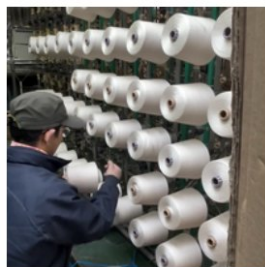
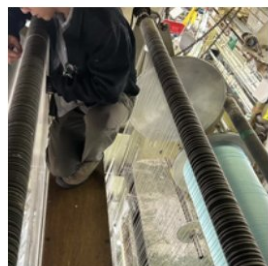
中原ニット

@nakahara_knit



もっとニット。

@motto_knit



総まとめ

登っている途中では見えない景色が、山頂にはある。

勇気の先に見える景色

それは **“これまでにみたことのない世界”** である。

そして、その景色の中に
実は **“理想に近づいた自分自身”** がいる。

登る山（目的地）を仲間と共有して
己を信じ、仲間を信じ
勇気を持って前進することにこそ
“人生の価値” がある。